

2018年度協力伝道週間 祈りの暦 = 2019年1月27日(日)～2月3日(日) =

日ごとの祈りに合わせて「協力伝道」の働きを覚えて祈りましょう。

■1月27日(日) 被災地支援、国内伝道

①「ともにこころ合せて」、東日本大震災支援活動を支えていくことができるように。②仮設住宅から退去された方々それぞれが向き合っている課題に寄り添うことができるように。③東京電力福島第一原発事故による放射能汚染での健康被害に心痛める福島の方々が癒され希望を持って生活できるように。④全国支援・地域協働プロジェクト(北九州と東京北の準備)のために。⑤各種支援制度を通して、教会活動が豊かに進められるように。⑥「協力伝道会議」で確認され、分かち合われた課題が共有されるように。

■1月28日(月) 国外伝道・国際協力

①野口日宇満・佳奈両宣教師(インドネシア)の働きとご家族を覚えて。②嶋田和幸・薫両宣教師(カンボジア)の働きとご家族を覚えて。③佐々木和之IMVの働きとご家族を覚えて。④伊藤世里江AMCの働きとIJCSとの協働を覚えて。⑤日本バプテスト女性連合の働きと世界バプテスト祈禱週間献金(目標額4,500万円)を覚えて。⑥BWA、APBFとの連携。BWAid、APBAidを通じた支援。CBFとの協力。

■1月29日(火) 青少年伝道、教会教育、教会音楽

①全国小羊会キャンプ・リーダー研修会、少年少女・隣人に出会う旅、全国青年大会、青年ミッショントリップに参加者を送ろう。②聖書から聴く神さまの物語を、教会学校で共に喜んで味わおう。『聖書教育』がよく用いられるように。③教会音楽が、諸教会の教会形成・信徒訓練の働きに資するように。『新生讃美歌』が礼拝で活用され、礼拝が豊かにされるように。奏楽奉仕者育成プログラム、礼拝研修、「賛美のことば」に関する働きのために。

■1月30日(水) 宣教研究所

①基礎研究や宣教論などの「研究」、さまざまな形式の牧師・教会のための「研修」、時代を的確に読み取るための「情報発信」など、バランスのとれた働きを通して諸教会・伝道所に仕えていけるように。②新任牧師・主事研修会、「式文」を用いた教会形成研修会、「『連盟七十年史』フォーラム(仮)」の実施のために。③運営委員会、スタッフの働きのために。

■1月31日(木) 伝道者養成・神学校

①献身者が多く起こされるように。②西南学院大学神学部・同大学院神学研究科、東京、九州両バプテスト神学校のために。③全国壮年会連合・奨学金委員会の働きと神学生奨学金献金(神学校献金)目標額3,000万円が満たされるように。

■2月1日(金) 理事会、監事、各委員会、直属事業体

①理事会、監事、各特別委員会(靖国神社問題、公害問題、日韓・在日、部落問題、ホームレス支援、性差別問題、障がい者と教会、財務、回転資金、神学教育、資料保存、セクシュアルハラスメント防止相談)、各臨時委員会(平和宣言、憲法アクション、東日本大震災被災地支援、現地支援)を覚えて。②天城山荘の働きと経営を覚えて。③「協力伝道会議」を受け、「これからの連盟の機構、財政、体制」の検討が進められるように。

■2月2日(土) 協力伝道献金、教役者退職金

①「祈りと励ましの標準比率」(2013年第59回定期総会改定)を大切に、協力伝道の働きに祈りを合わせることができるように。諸教会のスチュワードシップが豊かにされるように。②教役者退職金制度の財政が満たされ、諸教会の厚生年金移行が進められるように。

■2月3日(日) 諸教会・伝道所、連盟事務所

①諸教会・伝道所、関係団体が「祈り」で結ばれ、それぞれの働きがさらに豊かに祝されるように。②各教会の教役者の働きと健康と生活が守られますように。③無牧師の教会・伝道所を覚えて。④連盟事務所の働きを覚えて。

※祈りの暦・略称表記…[国外伝道・国際協力]IMV=国際ミッション・ボランティア、AMC=アジア・ミッションコーディネーター、IJCS=シンガポール国際日本語教会、BWA=世界バプテスト連盟、APBF=アジア太平洋バプテスト連合、CBF=Cooperative Baptist Fellowship

各プログラム・行事の日程など詳細な情報については、全国発送、日本バプテスト連盟ホームページなどをご覧くださいませようお願いします。